

2023年11月7日

各 位

会 社 名 株式会社 AFC-HD アムスライフサイエンス  
代表者名 代表取締役会長 浅山 雄彦  
(コード：2927、東証スタンダード)  
問合せ先 取締役会長室長 南方 茂穂  
(TEL. 054-281-5238)

会 社 名 株式会社 日本予防医学研究所  
代表者名 代表取締役会長 浅山 忠彦  
(AFC-HD グループ)

富山大学 和漢医薬学総合研究所との共同研究の研究成果が、  
国際学術誌 **Chemistry & Biodiversity** に掲載されました

株式会社 AFC-HD アムスライフサイエンス（本社：静岡県静岡市、会長：浅山雄彦）のグループ会社である株式会社日本予防医学研究所（本社：静岡県静岡市、会長：浅山忠彦）は、富山大学 和漢医薬学総合研究所の森田洋行教授らの研究グループとの共同研究において、ベトナム産ラン科植物 *Galeola nudifolia*（ガレオラヌディフォリア）の果実には、アルツハイマー病などの認知症疾患に対する創薬ターゲットとされているアセチルコリンエステラーゼという酵素に対して阻害活性を示す化合物が含まれていることを科学的に示しましたので、お知らせいたします。

なお、この研究成果は国際学術誌 **Chemistry & Biodiversity** に掲載されました。

株式会社日本予防医学研究所は、富山大学 和漢医薬学総合研究所の森田洋行教授らの研究グループとの共同研究により、この植物の果実がアセチルコリンエステラーゼに対して阻害活性を示すことを見だし、さらに、この果実には、活性は弱いものの、本酵素に対して競合的阻害活性を示すフェノール性化合物や複合型阻害活性を示すフェノール性化合物が含まれていることを明らかにしました。本植物の生物活性並びに生物活性成分に関する報告はこれが最初になります。

この植物の果実のアルコール抽出液は、健康増進の目的で伝統的に使用されてきましたが、生物活性に関する科学的解析は全くなされていませんでした。今回の成分の発見により、機能性表示食品への転用が期待されます。

\*学術誌掲載情報 ([https:// doi.org/10.1002/cbdv.202301482](https://doi.org/10.1002/cbdv.202301482))

学術誌名：Chemistry & Biodiversity, In press. e202301482. (2023) DOI: 10.1002/cbdv.202301482.

タイトル：Phenolic derivatives with anti-acetylcholinesterase inhibitory activities from *Galeola nudifolia* in Vietnam

著者：Kiep Minh Do, Yu Nakashima, Takeshi Kodama, Yuan-E Lee, Hien Minh Nguyen, Naotaka Ikumi, Hiroyuki Morita.